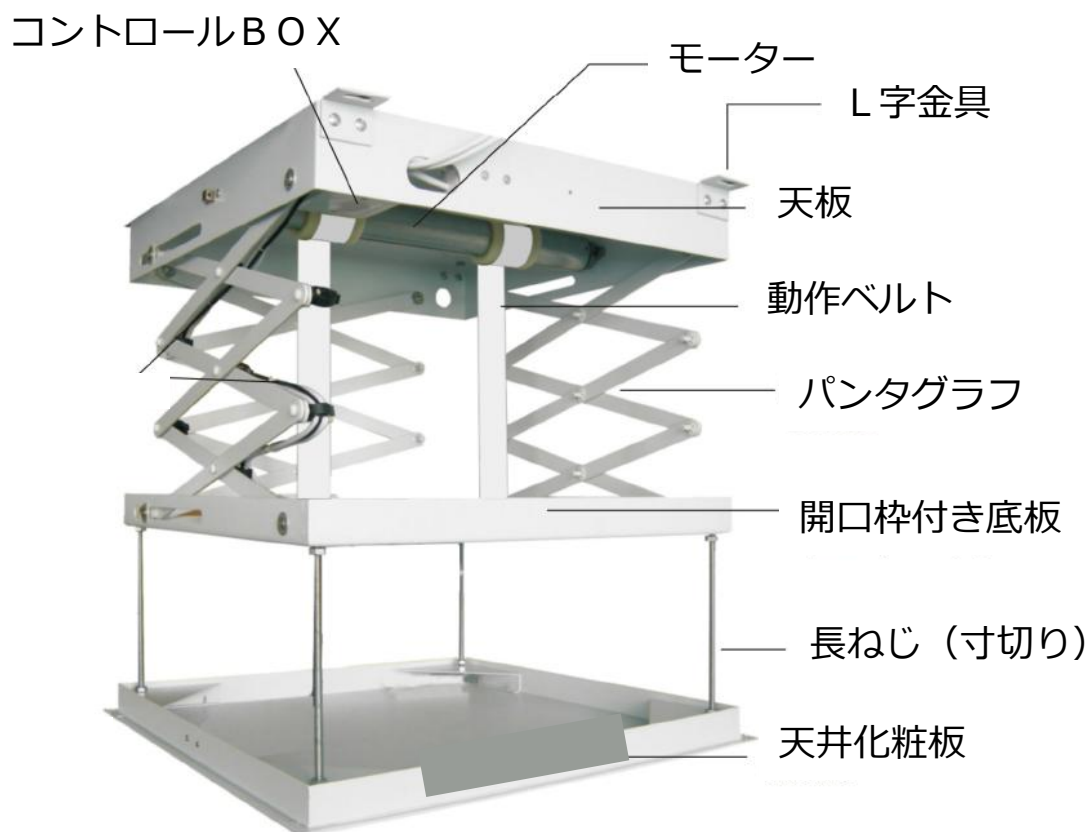


設置説明書

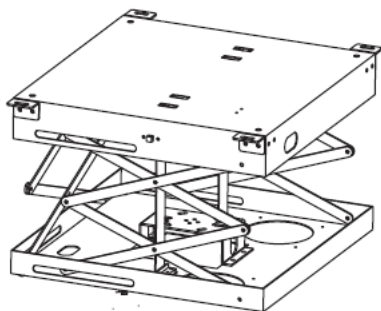
型番: PL-600III

(設置業者様用)



本体と付属品

①昇降機本体×1



②リモコン×1

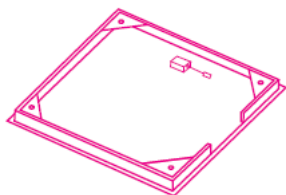


※左右のボタンは使用しません

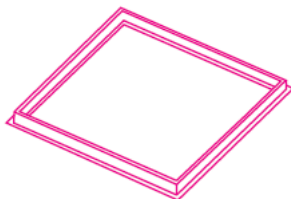
③リモコン電池
(単4×2) ×1



④天井カバー枠×1



⑤天井開口枠×1



⑥調整用六角ドライバー×1



⑦接点制御用モジュラー
ケーブル 10m×1本



⑧M8 全ネジ (寸切り)



330mm×4本
430mm×4本

⑨マイクロスイッチ



⑩ケーブルクランパー



*プロジェクター取付金具は付属していません。
別売のP L B-100が必要になります。

お客様へ

本商品をご購入頂き誠にありがとうございます。本商品を安全に正しく設置していただく為に、設置を行う前に本取扱説明書をお読みいただき、また大切に保管してください。専門業者様以外の設置はおやめください。



安全上のご注意：安全を確保するための注意事項を記載していますので必ずお読みいただき守ってください。誤った設置方法や取扱をすると、火災や機器の破損、怪我の原因となります。



交流100V以外で使用しない
電圧や定格が異なると、火災や機器の破損、人が怪我を負う原因となります。定められた電圧でお使いください。



電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、たり加工したりしないでください。コードが破損すると、感電火災の原因となります。



強度確保
本商品を設置する天井の強度を確認してください。本体の重量を支える強度の確保が必要になります。



蛍光灯の近くに設置しない
蛍光灯の光は赤外線の影響に与えます。本商品の赤外線受光部はお部屋の蛍光灯から離して設置してください。



専門業者以外は設置しない
本商品の設置は専門の作業員が行ってください。誤った設置方法や誤った使用は火災や機器の破損、人が怪我を負う原因となります。



専門業者以外は取り外さない
本商品の取り外し、分解は落下事故などの原因となります。商品の取り外しは専門業者が行ってください。

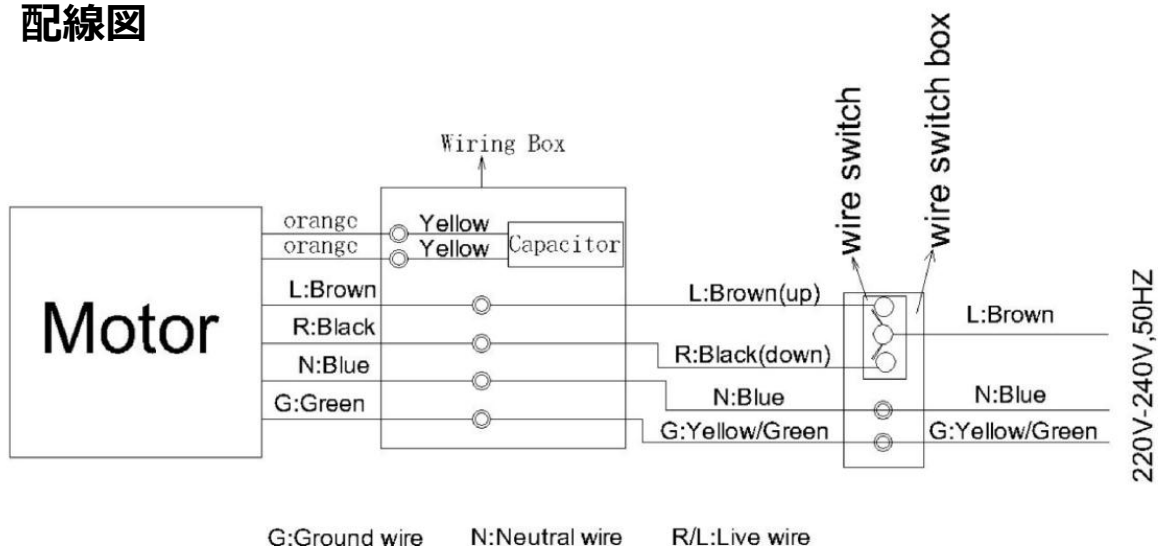
● 保証対象外について

天災等の不可抗力や、お客様の取扱上の不注意による破損などは保証しかねます。また、お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤った事により生じた故障、不具合またそれらに基づく損害については、当社は一切の責任を負いませんので、予めご了承下さい。

電気接続

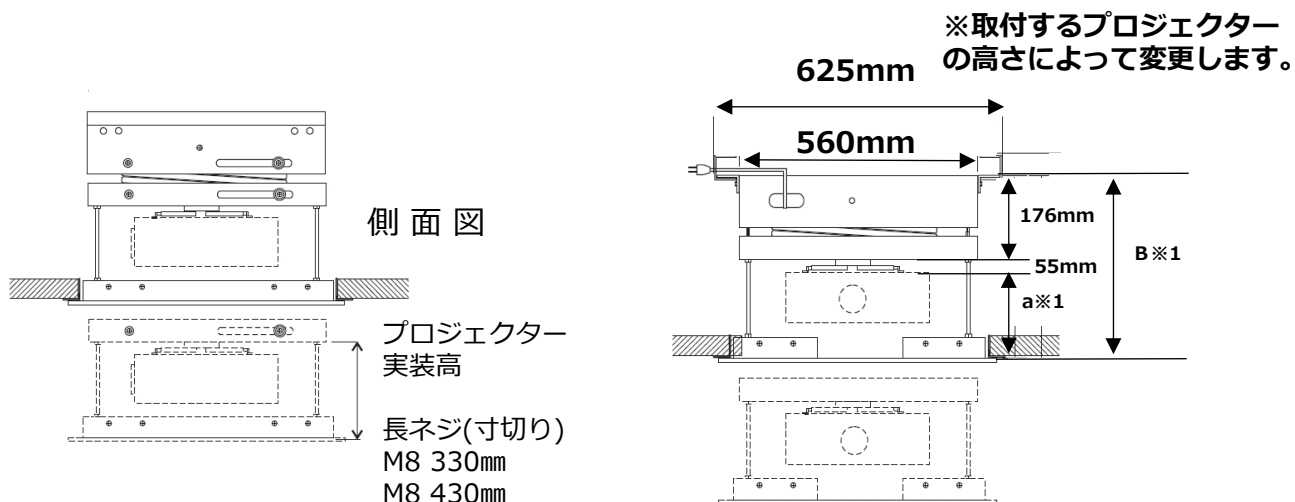
- 1.スクリーンはAC100V/50Hz(60Hz)/1phで動作します。
- 2.コントロールBOXは、リフトトッププレートの下にある白いボックスです。
- 3.すべての配線は地域、および国の電気規格に準拠し、施工には資格が必要です。
- 4.コンセントを抜いてから配線を行って下さい。

配線図



スペック

本体耐荷重	最大：50kg(本体含まず)
最大ストローク	4 3 0 mm
操作方法	赤外線リモコン or 接点制御
消費電量	2.4A / 240W / 50kg負荷時
定格電圧/周波数	100V / 50Hz / 60Hz
本体重量	21.7kg



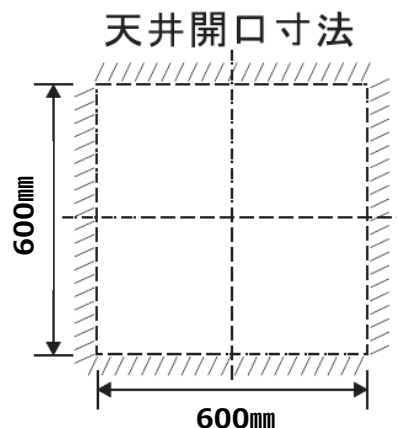
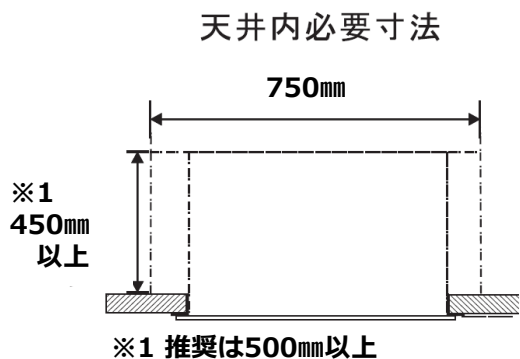
設置の前に

- 1.箱を開け昇降機本体を取り出します。本体と付属品の確認をして下さい。
- 2.本体の電源を接続して下さい。付属のリモコンで昇降が問題無く出来るか確認します。
- 3.天井の開口部に電源ソケットが必要になります。
- 4.プロジェクターコードの配線をして下さい。

注意：

- 1.電源を入れる前に、本体を吊り下げる必要があります。
*吊り下げずに作業するとリフトが落下し、部品の損傷や、施工者の怪我に繋がります。
- 2.二人以上の専門業者の手で設置を行って下さい。
- 3.天井の強度を確認して下さい。リフトとプロジェクター総重量の少なくとも3倍の重さに耐えられる強度が必要です。

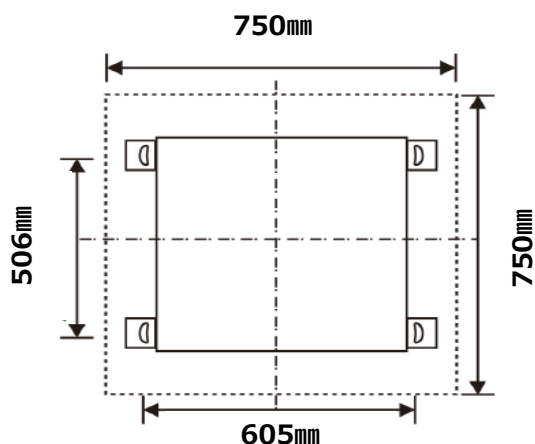
設置前の準備



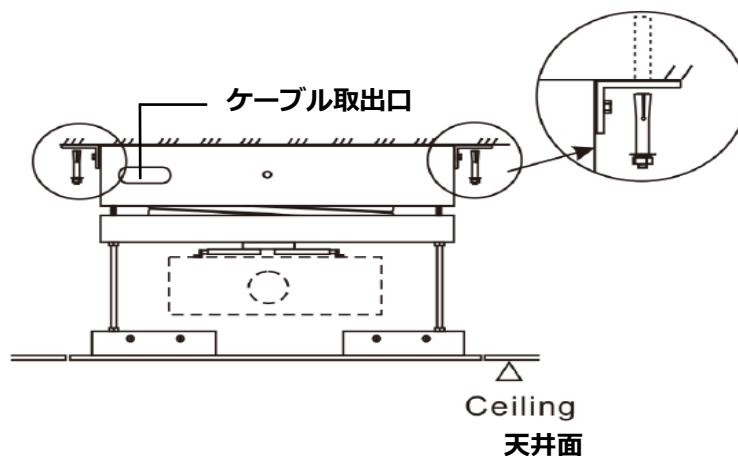
※天井開口枠を取付けやすい様に開口部への木材等での補強をお勧めいたします。

昇降機の設置

- 取付穴位置（下図1をご参照ください）
- アンカーを4か所の穴に取付け固定します（下図2をご参照下さい）
- ※全ねじボルト（寸切）を使用の場合は、「W3/8」をご使用ください。



（図1）



（図2）

昇降機取り付け方法

①天井の開口寸法を基準に、昇降機を取り付ける位置の墨出しをして下さい。

②コンクリートアンカー、ボルトで固定し、仮固定してください。向きがあるのでご注意ください。パンタグラフが無い方がスクリーン側です。（右図参照）

昇降機のL字金具には必ずスペーサーとしてワッシャーを間に入れてください。

※ワッシャーは別でご用意ください。

③天井開口枠を取り付けます。ビス穴が無いので穴を開ける必要があります。枠が白色なのでビス頭が白色の物を推奨します。木材などで天井開口枠が落ちないように取り付けてください。※天井開口枠を取り付けしやすい様にする為にも開口部への木材等での補強をお勧め致します。

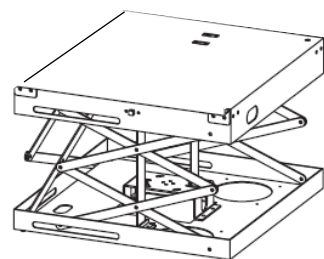
④電源を繋ぎ、昇降機を降ろし、天井開口と吊棚底板の四方の間隔が同じになるように、昇降機の位置を微調整し、昇降機を固定してください。

⑤非常スイッチは昇降機取付け後、取り出せるように、ダウンライトや、点検口付近に置いてください。

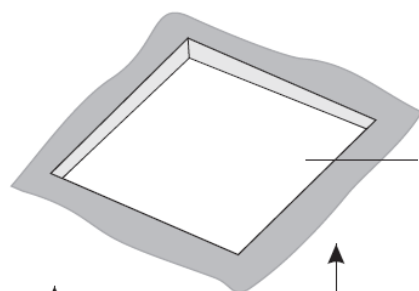
ケーブルを切ったの延長も可能です。非常スイッチは原則的に万が一動作しなくなった時の、緊急時の為の物です。

* 本体内部のコントロールBOXにも昇降機ボタンが付いていますので、非常時にはこちらで昇降機操作も可能です。

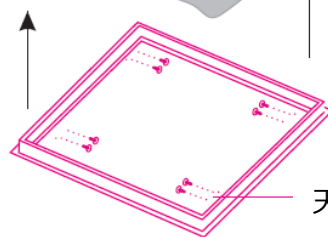
⑥映像用などプロジェクターに接続するケーブルは、パンタグラフに沿って、ケーブルクランプに、結束バンドで固定してください。



パンタグラフの無い方がスクリーン側



天井開口くち



天井開口枠

天井開口枠固定ネジ



厳守

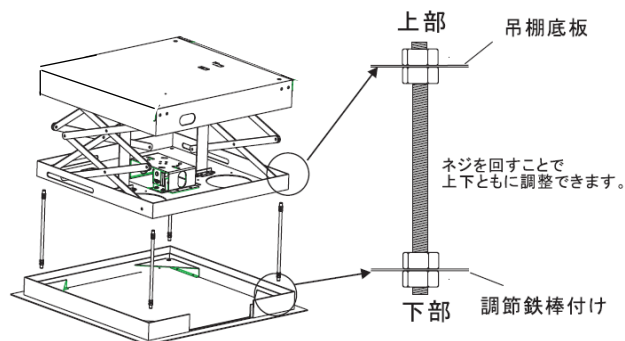
**本製品はAC100V専用です。
指定外の電源電圧で使用しないでください。**

プロジェクター設置について（キクチ科学の取説を参照）

別売のPLB-100(キクチ科学製)をご用意ください。
ご発注時に使用するプロジェクターの型番をお伝えください。

天井化粧板の設置

- 1.電源を入れてください。
- 2.付属のリモコンを用いて受光部に向け「DOWN」ボタンを押し、昇降機を下げてください。
- 3.付属の全ねじ（寸切/付属品⑧）で昇降機本体に天井化粧板を取り付けます。
- 4.昇降機本体と天井化粧板の間の隙間は調整できます。プロジェクターの高さに合わせお好みの高さで調整を行ってください。



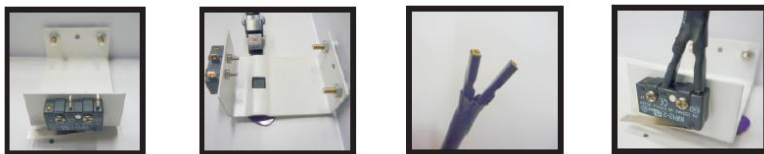
* 天井化粧板は、□566mm t=9mmの石膏ボードにクロスを貼ったものをご用意ください。

赤外線受光部と非常用スイッチの設置

* 受光可能な場所に受光部を移動して取り付けてください。

* 非常スイッチを押している間、昇降機が下降します。

※非常用スイッチは、DOWN操作のみです。
アップ操作はできません。



注意

100Vの電流が流れています。非常用スイッチ取付時は、必ず電源を切って作業してください。
蛍光灯の光は赤外線の影響を正確な受光に与えます。
本商品の赤外線受光部は、お部屋の蛍光灯から離して設置してください。

操作方法について

* 本機は、付属の赤外線リモコンによる操作もしくは、接点制御に対応しています。

A. 赤外線リモコンでの操作

本機にはリモコン受光部が下記の2ヶ所ございますので用途に合わせてご利用ください。

①コントロールBOX本体（白いBOX）に内蔵

②コントロールBOX本体よりモジュラーケーブルにて外付け受光部

初期設定は①②どちらも使用可能となっております。

外付け受光部は、見える所に設置してください。

ケーブルが短い場合は、切って延長も可能です。

もしくは、市販のIRリピーター等を組み合わせての使用も可能です。

B. 接点制御

コントロールBOXの蓋を外すと各制御端子があります。

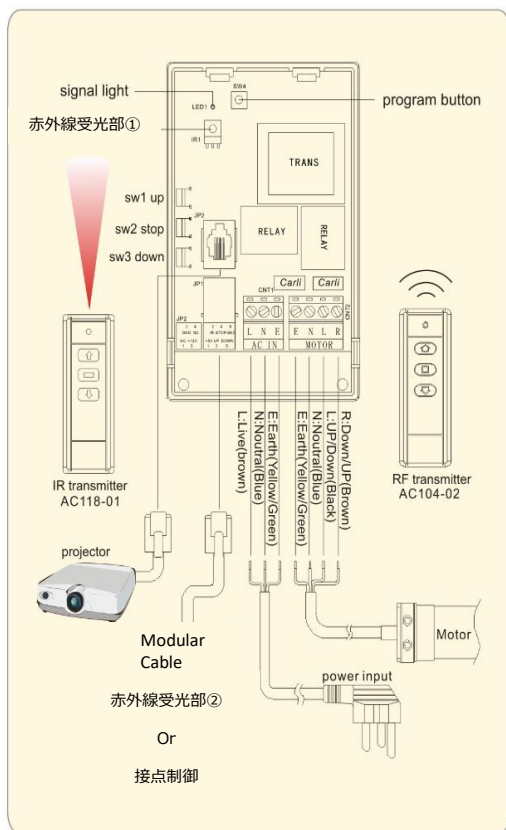
※のモジュラーケーブルを抜いて付属の接点制御用モジュラーケーブルに差し替えてください。

接点制御用モジュラーケーブルのハンダ処理されている側は、カットしてご使用ください。

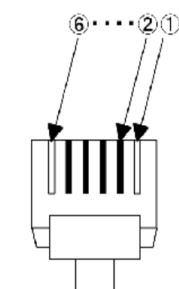
ケーブル配列は、下記のモジュラージャックピンアサインを参考にしてください。

～注意事項～

1つのモジュラー端子から赤外線受光部と接点制御の併用はできません。併用される場合は、コントロールBOX本体に内蔵されている受光部とモジュラー端子（接点制御）でご使用ください。



モジュラージャックピンアサイン

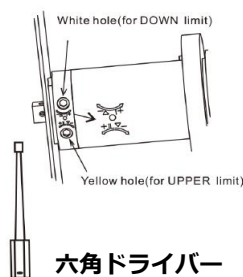


接点制御
NO.1:白 COM
NO.2:黒 DOWN
NO.3:赤 STOP
NO.4:緑 UP
NO.5:-
NO.6:-

ケーブルコネクタ
正面図

※モジュラージャック
接点制御とIR制御の併用は、
製品保証対象外です。
動作の保証はいたしません。

リミットスイッチ調整



自動停止位置（リフトの拡張時及び格納時に停止する場所）を調整出来ます。
基本的には事前設定のまま調整する必要はありません。
スイッチは付属の付属の調整用六角ドライバーで調整します。
調整ソケットは左側リフト上部プレート下にあります。

黄色い穴で、上限を調整します。
時計回りで上限を下げ、反時計回りで上限を上げます。
白い穴で、下限を調整します。
反時計回りで下限を下げ、時計回りで下限を上げます。

※特に上限の設定は間違えると故障の原因になります。

注意：

モーターの定格連続運転時間は4分です。
過度の操作によりモーターが過熱した場合、保護機能が働き停止します。
モーターが冷えるまで15分ほど間を置き、再度運転を開始して下さい。

トラブルシューティング

症状	確認事項	処理方法
昇降動作しない	電源コンセントが接続されていない	電源コンセントをしっかりと接続してください
	リモコンの電池が消耗している	新しい電池を交換してください
	操作時にリモコン受光部に向けていない	適切な距離や向き・角度の範囲内を確認して正しく操作してください
	リモコンと本体受光部の間に障害物がある	障害物を取り除いてください
	リモコンで動作しない・異臭がする	手動スイッチがSTOPになっているか確認してください

緊急時の処理方法

昇降機が天井に格納されている時、万が一のトラブルで、昇降機本体が
下降しなくなった時は、下記の方法で対処してください。

非常スイッチをONにしてください。
昇降機モーターが強制的に動作して下降します。

注：モーターなど動力系配線に問題がある場合は下降しません。